

税理士の仕事

税理士の仕事について

税理士の法定3業務

① 税務代理

納税者の代理人としてその権利を守る

② 税務書類の作成

確定申告書等の作成

③ 税務相談

税金に関する悩み事の相談

法定3業務は仕事の「窓」のようなもの。窓の内側には何が有るのでしょうか？

- 医師は、皆さんの「健康」を守ることが仕事
- 弁護士は、皆さんの「基本的人権」を守ることが仕事
- 税理士は、皆さんの「お金」を守ることが仕事

合格者は大卒が約8割(国税庁資料より)

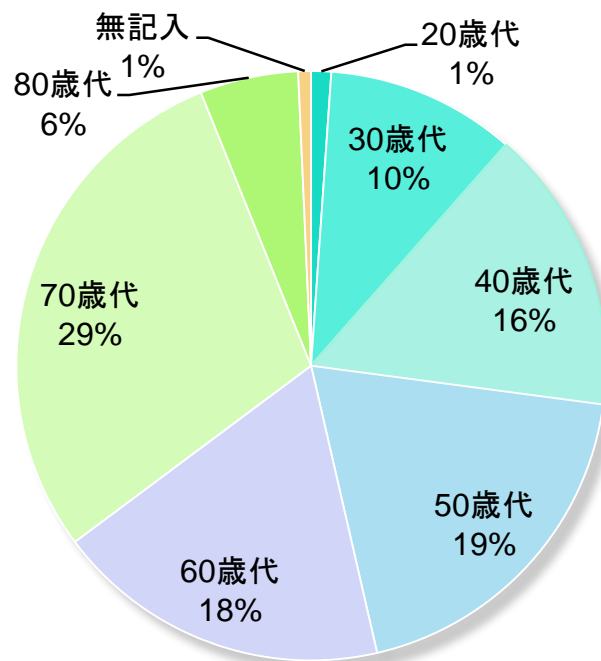
税理士試験は11科目の中から5科目を選ぶ、科目合格制です。
科目毎に**1つの資格**としての価値があり、科目ごとの合格も履歴書に記入できるので、就職・転職活動に大きなアドバンテージをつけて臨むことができます。例えば、簿記論や財務諸表論に合格していると、会計・財務の専門知識の取得者として、一般的に企業の経理・財務部門への就職・転職に有利であるといわれています。

商学部や経営学部には簿記、税法や開業後に役立つ講義があること、同じ目標を持つ人がいるので会計専門職には向いているでしょう。

若い人が不足しています

税理士の平均年齢は68歳。

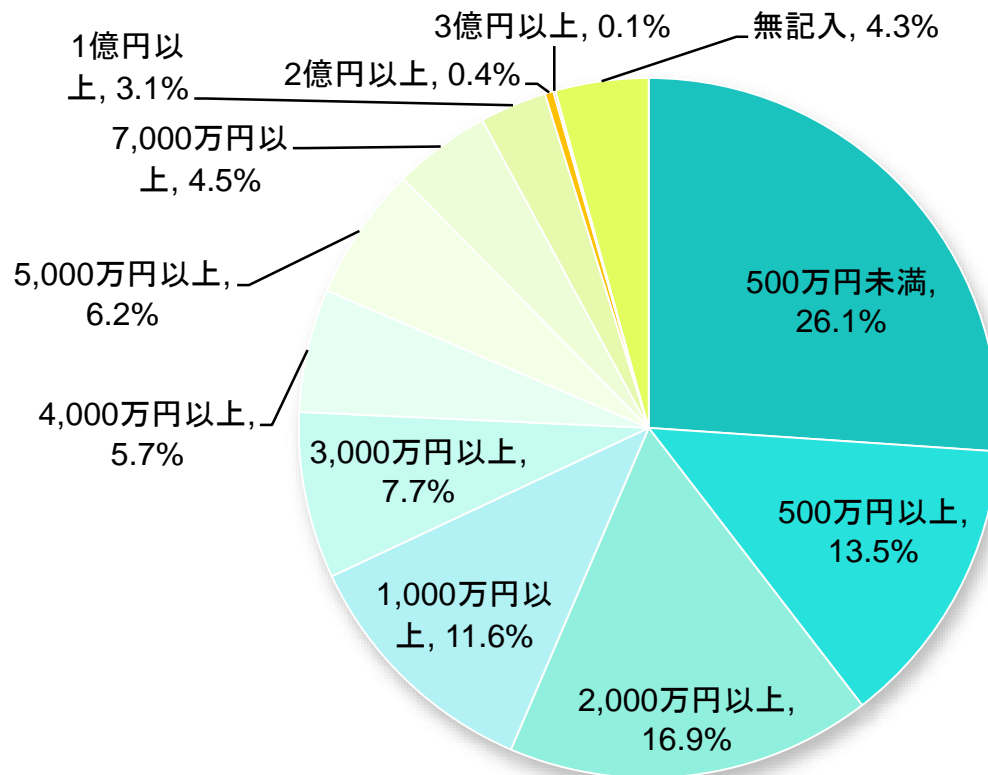
男女比は、7:3です。女性の比率が増加傾向です。



税理士事務所の年収

税理士資格取得のメリットは、期待できる収入とその独立性。納税者は誰でも顧客になりえるわけですからその収入の源は保証されています。

税理士事務所の平均年収は約2,700万円です。そして努力次第で高収入が期待できます。



(回答者24,229名)

「第5回税理士実態調査報告書」

(平成16年4月調べ)日本税理士連合会HPより抜粋

税理士の活動分野

税理士は、合格者の多くが独立開業しますが、最近では、企業内で活躍する税理士も増えてきました。

① 独立開業

・税理士には3つの独占業務があるため比較的経営がし易く、合格者の多くは開業します。

② 企業内税理士

・銀行・証券会社・保険会社といった金融業界を始め、一般企業の税務部や経理部に所属し、税務に関する業務に携わります。企業のM&A(買収・合併)に関わる事もあります。

③ 税理士法人

・税理士版大学病院というイメージでしょうか。
・気のあった仲間とそれぞれの専門性を活かし税理士法人を設立することも可能です。

④ 税務争訟

・納税者の代理人として国や地方自治体と争います。また、税金裁判では弁護士とともに納税者の権利のために活動します。

⑤ 国際税務

・日本企業の海外進出、外資系企業の国内参入などで国際税務も多様化、複雑化しています。語学(英語等)が必須の分野です。

⑥ コンサルティング業務

・コンサルティング業務には税理士資格は必要ありませんが、税務を通じて企業と日常的に接点のある税理士がコンサルティング業務についても依頼されることは多いです。

⑦ 社会貢献活動

・国家資格に基づく経験、独立性を利用して、地方自治体の監査委員、政治資金監査人、裁判所の民事調停委員・家事調停委員、租税教室の講師を引き受けたりしています。